

子どもを支える親トレ 概要

「子どもを支える親トレ」プログラム概要

～思春期・青年期以降のお子さんをもつ保護者対象のプログラム～

我が子が現在、ひきこもり状態にある、あるいは、そうとは言えないまでも仕事や学校に行くことができず、自宅での生活が中心の状態にあるお子さんをお持ちの保護者を対象とした、お子さんとの関わり方を再考するプログラムを実施します。

— 本音で語り合える場

自分らしく社会に参加できない状態は、お子さんご本人が誰よりもつらいのだと思います。そうわかっている、なかなか社会に踏み出す勇気が持てない我が子を近くで支えていくことは、簡単なことではありません。我が子を思う気持ちから、焦り不安になり、時に否定的な気持ちに傾くこともあるかもしれません。でもそのような気持ちを、本音で語る機会は少なく、その閉塞感から孤独感やつらさを感じる方は多くいらっしゃいます。

そこで『子を支える親トレ』では、同じような経験をされている方同士が本音で語り合える場を提供します。

— 前に進むためにできること

「何が（誰が）いけなかったのか」の原因探しは、必ずしも効果的ではないと感じます。つまり背景はさまざま、家庭によっても状況によっても、関われるポイントはさまざまです。本音で語り合う中で、“単なる”見守り以外の、状況に合った方法を探していきたいと思います。現状を客観的に見つめ直し、ここから前に進むための具体的な手立てを、一緒に考えていきます。

— 停滞した状況に風穴を開ける

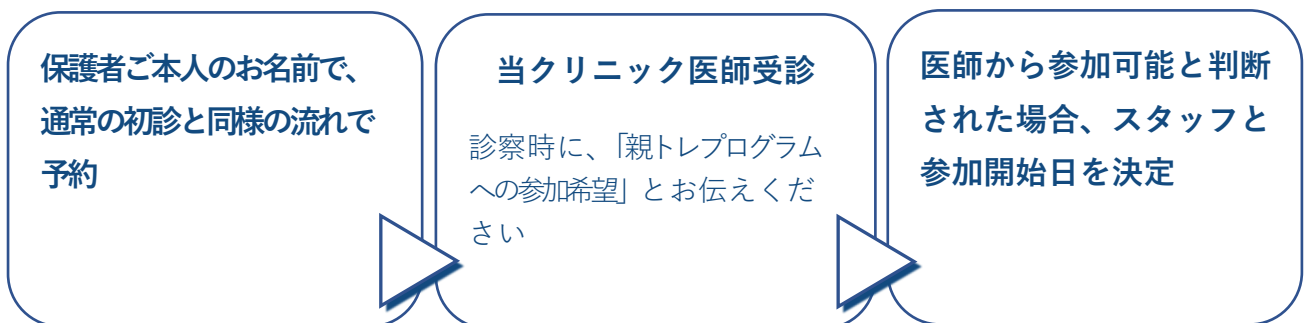
専門スタッフ（医師、公認心理師・臨床心理士）が保護者の方々と一緒に、停滞した状況を打破するための風穴を開ける方法を考えます。今できていることに着目しながら、ほんの少しだけ、今までとは異なった工夫をすることで、保護者自身も穏やかな気持ちで家族との時間を過ごせるような方法を探っていきたいと思います。

日時	毎月第3土曜日 10:00~12:00
場所	当クリニックデイケアルーム2
参加対象	<ul style="list-style-type: none"> ● お子さんがリスタートプログラムに参加されている保護者の方 ● 現在、引きこもり状態のお子さんがあるものの、今はまだ当院リスタートプログラムに参加されていない保護者の方 ● お子さんの年齢上限は問いません

『子を支える親トレ』参加は、保護者ご本人の名前での保険診療となります。

— 参加までの流れ

- お子さんが、リスタートプログラムに参加されていない場合



- お子さんが、既にリスタートプログラムに参加されている場合

